

1. 和光市駅南口駅前広場における景観形成方針策定の経緯

平成28年9月26日「第9回景観審議会」開催

【提 言】

まちの骨格となる公共施設（道路、河川、公園、公共建築物等）は、市内景観をリードし、モデル役となるため、市民との協働により、市が積極的に取り組む必要がある。

和光市駅南口駅前広場における景観形成方針の原案の作成

平成30年7月20日「第11回景観審議会」開催

【議 題】和光市駅南口駅前広場における景観づくりについて

【主な意見】

- ・導線や目線の誘導について、景観面で検討する方向性は良い
- ・ニホニウム発見のまちをもっとPRしたほうが良い
- ・ワークショップでは訪れる方のためだけの景観形成方針にならないよう検討してほしい
- ・現状の駅前広場の形状ありきの景観形成方針にならないように検討してほしい

平成30年12月15日「景観づくりワークショップ」開催

【開催目的】市民の意見を幅広く抽出し、景観形成方針に反映させること

【作業内容】南口駅前広場の現状・課題、あり方・将来像、景観づくりの方向性を検討

【主な意見】

- ・案内板の改善（煩雑さ解消、デジタル化、多国語化、市内・広場案内など）
- ・トイレの改善（名称変更、認知、利用法、素材の暗さほか）
- ・広場の確保（プランターの再配置・素材変更、明るさ・活気の増加等）
- ・公共交通誘導のわかりやすさ（バス、タクシー案内）
- ・ニホニウムのアピール方法（観光資源・市のPR）

南口駅前広場が抱えている課題・問題点、景観による改善の方向性について、市の認識とほぼ一致していることが確認できた。

第11回景観審議会と景観づくりワークショップで提案された意見を踏まえ、景観形成方針の修正案を作成する。

和光市駅南口駅前広場における景観形成方針の修正案作成

平成31年3月25日「第12回景観審議会」開催

- ・和光市駅南口駅前広場景観づくりワークショップの開催について（報告）
- ・和光市駅南口駅前広場における景観形成方針の策定について（諮問）

平成31年4～5月頃

和光市駅南口駅前広場における景観形成方針の策定と公表（予定）

2. 和光市駅南口駅前広場における景観形成方針の修正案作成

（1）南口駅前広場の景観づくりの方向性

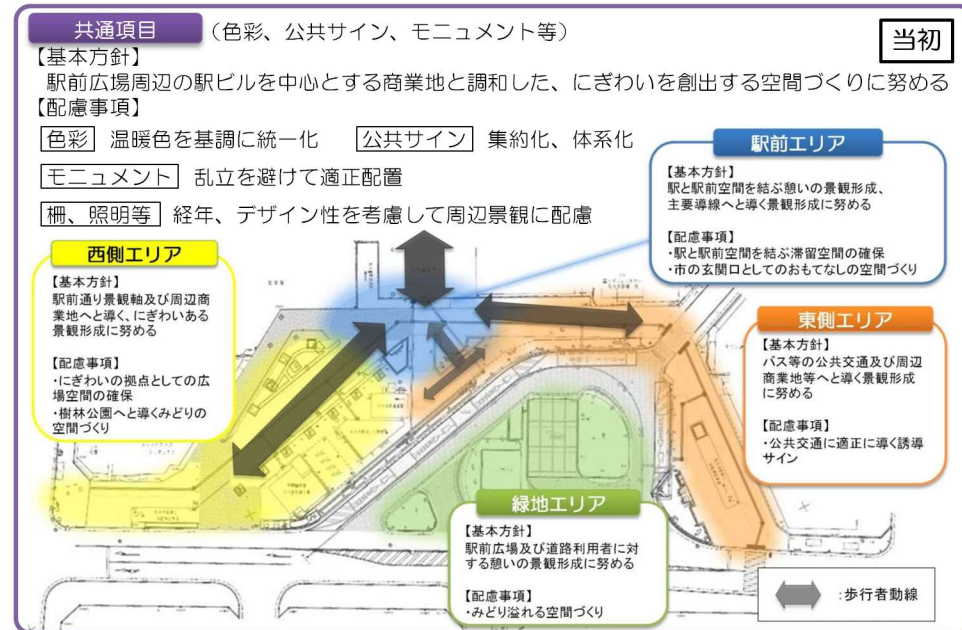
「（にぎわい、いこい、みどり）」

ワークショップで提案された方向性から、「和み、歓迎(welcome)、和光がわかる、魅力(緑など)」を抽出し、作成

「人々が和み、人々を歓迎する、和光の魅力がわかる駅前広場」

（2）各エリアの基本方針、配慮事項（配置・規模・意匠等）

バリアフリー・ユニバーサルデザインは原則とし、景観形成を4エリアで作成。



第11回景観審議会で提案された現状の駅前広場の形状ありきの景観形成方針とらないように検討することについて、方針の見直しについての章を追加する

- ・第6章 和光市駅南口駅前広場の景観形成方針の見直しを追加する

ワークショップで提案された観光資源・市のPRについての意見を配慮事項に追加する

- ・駅前エリアの方針に 和光市の景観や様々な魅力をPRする空間づくりを追加
- ・東側エリアの方針に ニホニウム通りを追加

配慮事項のイメージをわかりやすくするため、参考事例の写真を追加する